

川嶋印刷株式会社 (印刷業)



観光パンフレットや商品カタログなど、同社が手がけている印刷物は幅広い。



設備と技術を高度化し、「世界一美しい印刷物」を目指している。



わかりやすく伝えるのはどうしたらいいのか、おもしろくするためにどこを訴求するかなど、打ち合わせの時にはさまざまなアイデアが飛び交う。



印刷業を基軸に幅広い事業を手がけている。

企業コンセプト

「よりよい情報伝達のお手伝い」を基本姿勢に。

お客様の喜びを、自らの喜びに。

創業は1911年(明治44年)。長い歴史を積み重ね、技術を蓄積させながら、近年ではデジタルメディアの分野にも進出し、幅広く情報サービスを手がけている川嶋印刷株式会社。同社の基本理念は「愛行の実践」です。この言葉は「人間が最もうれしいと感じるのは、自分が行なったことによって、人が喜んでくれた時」という思いを、表現したものです。

心のこもったサービスを提供し、喜びと信頼感が得られた時、仕事は楽しみとなり、喜びとなる。この気持ちを常に持ち、お客様の要望を正しく理解し、お客様の望むもの以上のものを提供することを常に心がけています。

総合的な情報伝達活動を展開。

紙器製造を出発点とする同社が、印刷機2台を導入して印刷業に参入したのは1936年のこと。以来、より確かな情報を、より高度な品質で届けるため、技術革新と人材育成に力をつくしてきました。

従来の印刷業は顧客の求める仕様や数量に応じて個別に生産する「受注産業」でしたが、今日では情報を的確にコーディネートする企画提案力も問われています。同社ではメディアの複合化を推進する企画プロジェクトを設け、総合的な情報伝達活動を展開しています。そして、経験したことのない仕事、難しい仕事にも積極的に挑戦していきたいと考えています。

情報伝達サービス業を極める。

情報伝達の媒体は時代とともに多様化しています。印刷業の看板を掲げる同社でも、実際に印刷機を動かしているのは全従業員の2割。お客様のニーズに対応する中で、Web製作や各種イベントの企画運営など、印刷業という基軸から発展した事業が拡大しています。

印刷業が今後どのようなメディアを開拓していくことも、「よりよい情報伝達のお手伝い」が同社の基本姿勢です。そして、「いいものをつくりたい」という思いは、設立当初から変わりません。印刷会社として「世界一美しい印刷物」を目指すとともに、情報伝達サービス業を極めるためのチャレンジを続けます。

Job Preview

PROFILE

小野堯士 (24)

おの たかし
岩手県一関市出身。神奈川大学法学部自治行政学科を卒業後、同社に入社。現在は、仙台営業所に勤務し、得意先や新規開拓の営業を担当。

仕事の内容

得意先からの受注業務と新規開拓営業をしています。クリエイティブな提案を求められることも多い仕事ですが、それが作品として仕上がった時の喜びはひとしおです。

会社のPRポイント

地元根付いているので、お客様には信頼をいただいていますし、その土台となる技術のノウハウがあります。社内のコミュニケーションも良く、何でも聞きやすい環境です。

学生たちへひとこと!

社会に出たら、自発的に行動しなければ何も始まりません。わからないことは、どんどん聞くことが大切。また、幅広い世代との関わりが増えますから、アルバイトなどでコミュニケーション力を磨くといいと思います。

BUSINESS TIME SCHEDULE



代表者からのメッセージ

学生は授業を受ける「権利」があり、権利は放棄できるものです。一方、社会人はお金をもらって動くので、果たすべき「義務」があります。また、言われたことをこなすだけのアルバイトは「作業」といい、答えが見えない中でやるのが「仕事」です。社会人として仕事をするには、この違いを認識しなければなりません。そして、好奇心旺盛であることも大切。特に営業職は「知りたい」と思う気持ちが原動力になります。何にでも興味を持って取り組む姿勢を大事にしてほしいですね。



代表取締役
菊地慶矩

学生記者の企業リポート

仕事のやりがいとは?

入社当初は何をしていいかわからず、手探りで仕事だったという小野さん。その中で「自分から動いて覚える」ということが一番大切だと感じたそうです。ある時、お客様から引き受けていた広告を、締め切り直前に「これではいけない!」と再度作り直して提案した結果、とても良い評判が得られたそう。お客様が求めていること以上の成果をあげて信頼を得ることができるとき、大きなやりがいを感じられると思います。

職場の雰囲気は?

社員の皆さんが笑顔で説明をしたり、社内の案内をしてくださる際、ジョークを交えながらの会話が本当に楽しく印象的でした。また、小野さんがおっしゃっていた「相手の求めていること以上の成果をあげることが大切」という言葉を、菊地社長も同じように大切に話していました。社員の皆さんが同じ信念を持ち、一丸となってお客様に向き合っているのだと感じました。

会社のこれからは?

お客様のことを考え、気づかう気持ちに圧倒させられました。きっと、この気持ちは、お客様からの「信頼」という形で返ってくるのだと思います。その信頼に見合うよう、世界で一番の印刷物を作ることこそ、同社が目指す目標だとおっしゃっていました。社員の皆さんのこのマインドこそが、最大の原動力であると感じました。

学生記者 遠藤晃司

Company DATA

川嶋印刷株式会社

www.kpc.co.jp

美術・商業・各種帳票を中心とした総合印刷会社。現在では、コンピュータ制御による高品質印刷技術革新により、さまざまな媒体を発信。幅広く情報伝達サービスを手がけ、多様化するニーズに素早く対応しています。

企業の強み

- ためめ技術革新と人材育成を通して、高品質な印刷物をつくり出している。
- 積極的に新しい媒体を企画提案し、総合的な情報伝達活動を展開している。
- 地域に根ざし、確固たる事業基盤を築いている企業として、地元で厚い信頼を得ている。

事業内容	各種印刷・紙器その他包装用品の製造販売、ソフト開発・コンピュータ映像の企画制作・販売、広告宣伝に関する業務、各種イベントの企画・運営管理、Web製作ほか
資本金	7,000万円
従業員数	178名
平均年齢	43歳
設立	1950年7月
売上高	18億700万円
初任給	180,000円
福利厚生	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、財形貯蓄、確定給付年金、退職金制度
休日・休暇	日曜日、祝日、年末年始、盆休、指定休日、年間休日105日
県内事業所	本社工場(平泉町)、盛岡支社、水沢営業所、花北営業所(花巻市)、北上営業所、三陸営業所(釜石市)

【本社所在地】〒021-0882 岩手県一関市上大槻街3番11号 【TEL】0191-46-4161



最近の採用者数(30歳未満の若年雇用者)

22年度	2名	23年度	3名	24年度	2名
------	----	------	----	------	----

最近の離職者数(30歳未満の若年雇用者)

22年度	2名	23年度	4名	24年度	2名
------	----	------	----	------	----